【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年８月９日
【四半期会計期間】	第135期第１四半期(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)
【会社名】	株式会社豊田自動織機
【英訳名】	TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長　豊 田 鐵 郎
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市豊田町２丁目１番地
【電話番号】	刈谷(0566)22-2511
【事務連絡者氏名】	経理部長　河 井 康 司
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内２丁目４番１号 丸の内ビルディング29階 株式会社豊田自動織機 東京支社
【電話番号】	東京(03)5293－2500
【事務連絡者氏名】	支社長　石 川 俊 彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町２番１号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄３丁目８番20号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜１丁目８番16号)

第一部 【企業情報】

第１ 【企業の概況】

１ 【主要な経営指標等の推移】

回次		第134期 第１四半期 連結累計期間	第135期 第１四半期 連結累計期間	第134期
会計期間		自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日	自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日	自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日
売上高	(百万円)	322,291	386,544	1,543,352
経常利益	(百万円)	16,965	25,944	80,866
四半期(当期)純利益	(百万円)	13,873	14,535	58,594
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	17,384	△69,025	130,308
純資産額	(百万円)	1,083,998	1,112,089	1,197,841
総資産額	(百万円)	2,521,778	2,506,285	2,656,984
１株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	44.53	46.64	188.02
潜在株式調整後１株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	―	―	―
自己資本比率	(%)	41.16	42.52	42.96

(注) 1 売上高には、消費税等を含んでおりません。
2 第134期第１四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3 第134期の潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4 第135期第１四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２ 【事業の内容】

当第１四半期連結累計期間において、当社グループの事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動もありません。

なお、2012年7月に当社が保有する株式会社ティーアイビーシーの株式を一部売却したことにより、同社を子会社から関連会社に異動しております。

第２ 【事業の状況】

１ 【事業等のリスク】

当第１四半期連結累計期間において、事業等のリスクに重要な変更はありません。

２ 【経営上の重要な契約等】

当第１四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

３ 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第１四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を643億円(20%)上回る3,865億円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期を118億円(179%)上回る183億円、経常利益は前年同期を90億円(53%)上回る259億円、四半期純利益は前年同期を7億円(5%)上回る145億円となりました。なお、子会社であります株式会社ティーアイビーシーの整理に伴う損失66億円を特別損失として計上しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車

自動車におきましては、東日本大震災により生産活動が影響を受けた前年同期に比べ、634億円(44%)上回る2,067億円の売上高となりました。営業利益は79億円（前年同期は24億円の営業損失）となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツ・ＲＡＶ４が増加し、売上高は前年同期を267億円(48%)上回る823億円となりました。

エンジンにつきましては、主にＫＤ型ディーゼルエンジン、ＡＲ型ガソリンエンジンが増加したことにより、売上高は前年同期を185億円(52%)上回る540億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、国内・海外ともに増加した結果、売上高は前年同期を117億円(26%)上回る560億円となりました。

② 産業車両

産業車両におきましては、主力のフォークリフトトラックが国内・海外ともに増加したことにより、売上高は前年同期を29億円(2%)上回る1,390億円となりました。営業利益は前年同期を9億円(11%)上回る84億円となりました。

③ 物流

物流におきましては、自動車関連部品の運送事業が増加したものの、子会社でありました株式会社通販物流サービスの保有株式を2011年5月にすべて売却したことにより物流受託事業が減少し、売上高は前年同期を8億円(3%)下回る230億円となりました。営業利益は前年同期を7億円(142%)上回る11億円となりました。

④ 繊維機械

繊維機械におきましては、2012年2月にウースター テクノロジーズ株式会社を子会社化した一方、主力の紡機、織機がともに減少し、売上高は前年同期を3億円(3%)下回る91億円となりました。営業利益は前年同期を1億円(36%)下回る2億円となりました。

⑤ その他

その他におきましては、売上高は前年同期を9億円(9%)下回る85億円となりました。営業利益は前年同期を1億円(29%)上回る6億円となりました。

(2) 財政状態に関する分析

総資産につきましては、主に投資有価証券の時価評価額が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,507億円減少し、2兆5,062億円となりました。負債につきましては、主に繰延税金負債が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ650億円減少し、1兆3,941億円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ858億円減少し、1兆1,120億円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第１四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第１四半期連結累計期間における研究開発費は、92億円であります。

(注) 1 売上高には、消費税等を含んでおりません。
2 セグメントの業績に記載の売上高は、外部顧客に対する売上高を表示しております。

第３ 【提出会社の状況】

１ 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,100,000,000
計	1,100,000,000

② 【発行済株式】

種類	第１四半期会計期間末現在発行数(株)(平成24年６月30日)	提出日現在発行数(株)(平成24年８月９日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	325,840,640	325,840,640	東京、名古屋、大阪各証券取引所(市場第一部)	単元株式数 100株
計	325,840,640	325,840,640	―	―

(注) 提出日現在の発行数には、平成24年８月１日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(千株)	発行済株式総数残高(千株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
平成24年４月１日～平成24年６月30日	―	325,840	―	80,462	―	101,766

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第１四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年６月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	―	―	―
議決権制限株式(自己株式等)	―	―	―
議決権制限株式(その他)	―	―	―
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 14,153,600	―	―
完全議決権株式(その他)	普通株式 311,400,400	3,114,004	―
単元未満株式	普通株式 286,640	―	―
発行済株式総数	325,840,640	―	―
総株主の議決権	―	3,113,994	―

(注) 1 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が19株含まれております。
2 当第１四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年３月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

② 【自己株式等】

平成24年６月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社豊田自動織機	愛知県刈谷市豊田町２丁目１番地	14,153,600	―	14,153,600	4.34
計	―	14,153,600	―	14,153,600	4.34

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株あります。
なお、当該株式数は、「①発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」の中に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第４　【経理の状況】

１．四半期連結財務諸表の作成方法について

四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

２．監査証明について

金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第１四半期連結会計期間(平成24年４月１日から平成24年６月30日まで)および第１四半期連結累計期間(平成24年４月１日から平成24年６月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	274,710	294,054
受取手形及び売掛金	195,391	170,478
リース投資資産	36,570	34,233
有価証券	92,249	61,218
商品及び製品	48,183	50,713
仕掛品	33,727	35,229
原材料及び貯蔵品	34,536	29,291
繰延税金資産	20,368	23,156
その他	36,358	35,509
貸倒引当金	△2,740	△2,564
流動資産合計	769,356	731,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	141,412	134,706
機械装置及び運搬具（純額）	180,146	173,981
工具、器具及び備品（純額）	24,448	24,990
土地	116,526	116,260
建設仮勘定	18,519	21,090
有形固定資産合計	481,053	471,030
無形固定資産		
のれん	68,824	76,105
その他	37,952	40,584
無形固定資産合計	106,777	116,690
投資その他の資産		
投資有価証券	1,177,591	1,066,940
繰延税金資産	10,758	10,495
リース投資資産	76,566	73,980
その他	35,034	35,971
貸倒引当金	△152	△146
投資その他の資産合計	1,299,798	1,187,242
固定資産合計	1,887,628	1,774,963
資産合計	2,656,984	2,506,285

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	168,465	151,321
短期借入金	110,212	76,276
コマーシャル・ペーパー	12,897	13,449
1年内償還予定の社債	54,105	53,900
リース債務	37,619	35,761
未払金	18,169	15,188
未払法人税等	12,510	12,158
繰延税金負債	3	―
役員賞与引当金	525	152
その他	165,018	174,462
流動負債合計	579,527	532,672
固定負債		
社債	187,238	186,889
長期借入金	249,183	273,276
リース債務	85,754	83,371
繰延税金負債	297,304	257,890
退職給付引当金	※1 48,973	※1 48,957
その他	11,160	11,137
固定負債合計	879,615	861,524
負債合計	1,459,142	1,394,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	106,128	106,128
利益剰余金	455,042	461,786
自己株式	△50,266	△50,267
株主資本合計	591,367	598,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	565,007	493,009
繰延ヘッジ損益	△131	162
為替換算調整勘定	△14,763	△25,492
その他の包括利益累計額合計	550,112	467,678
新株予約権	2,310	2,406
少数株主持分	54,051	43,892
純資産合計	1,197,841	1,112,089
負債純資産合計	2,656,984	2,506,285

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)
売上高	322,291	386,544
売上原価	272,828	321,876
売上総利益	49,463	64,667
販売費及び一般管理費	42,909	46,350
営業利益	6,554	18,317
営業外収益		
受取利息	2,375	2,205
受取配当金	10,283	10,497
その他	3,333	1,863
営業外収益合計	15,992	14,566
営業外費用		
支払利息	3,947	3,663
その他	1,634	3,275
営業外費用合計	5,581	6,939
経常利益	16,965	25,944
特別損失		
関係会社整理損	―	※1 6,616
特別損失合計	―	6,616
税金等調整前四半期純利益	16,965	19,327
法人税、住民税及び事業税	6,718	10,684
法人税等調整額	△3,631	△4,390
法人税等合計	3,087	6,293
少数株主損益調整前四半期純利益	13,877	13,034
少数株主利益又は少数株主損失（△）	4	△1,501
四半期純利益	13,873	14,535

【四半期連結包括利益計算書】
【第１四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,877	13,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,109	△72,062
繰延ヘッジ損益	△49	293
為替換算調整勘定	△2,521	△10,129
持分法適用会社に対する持分相当額	△30	△161
その他の包括利益合計	3,507	△82,060
四半期包括利益	17,384	△69,025
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,452	△67,897
少数株主に係る四半期包括利益	△67	△1,128

【会計方針の変更等】

当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)
（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更） 当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ64百万円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※１　退職給付引当金に含まれる役員（執行役員を含む）の退任慰労引当金の額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
役員退任慰労引当金	2,198百万円	1,848百万円

(四半期連結損益計算書関係)

※１　関係会社整理損

子会社であります株式会社ティーアイビーシーの整理に伴う、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などの減損損失（4,516百万円）、設備撤去費用の見積額などであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)
減価償却費	19,648百万円	19,263百万円
のれんの償却額	1,527	1,623

（株主資本等関係）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年６月16日定時株主総会	普通株式	7,789	25	平成23年３月31日	平成23年６月17日	利益剰余金

２．基準日が当第１四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第１四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の金額の著しい変動

当第１四半期連結累計期間において、7,789百万円の剰余金の配当を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年６月14日定時株主総会	普通株式	7,792	25	平成24年３月31日	平成24年６月15日	利益剰余金

２．基準日が当第１四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第１四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

３．株主資本の金額の著しい変動

当第１四半期連結累計期間において、7,792百万円の剰余金の配当を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他 （注）１	合計	調整額 （注）２	四半期連結損益計算書計上額 （注）３
売上高								
外部顧客への売上高	143,392	136,135	23,845	9,471	9,447	322,291	―	322,291
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,608	140	1,992	18	2,344	10,104	△10,104	―
計	149,001	136,275	25,838	9,490	11,791	332,396	△10,104	322,291
セグメント利益又は損失(△)	△2,447	7,552	456	399	519	6,479	75	6,554

(注)　１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主要な製品は、半導体パッケージ基板であります。
２　セグメント利益の調整額75百万円は、セグメント間取引消去であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他 （注）１	合計	調整額 （注）２	四半期連結損益計算書計上額 （注）３
売上高								
外部顧客への売上高	206,761	139,011	23,025	9,188	8,556	386,544	―	386,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,304	131	2,116	20	2,732	10,305	△10,305	―
計	212,066	139,143	25,142	9,209	11,288	396,849	△10,305	386,544
セグメント利益	7,922	8,419	1,103	255	672	18,372	△55	18,317

(注)　１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主要な製品は、半導体パッケージ基板であります。
２　セグメント利益の調整額△55百万円は、セグメント間取引消去であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

（固定資産に係る重要な減損損失）

「その他」におきましては、子会社であります株式会社ティーアイビーシーの整理に伴う、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などの減損損失（4,516百万円）を計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

「繊維機械」におきましては、子会社でありますウースター テクノロジーズ株式会社の株式を追加取得したことにより、のれんの金額は、8,689百万円増加しております。

(１株当たり情報)

１株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎ならびに潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)
(1)　１株当たり四半期純利益金額	44円53銭	46円64銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（百万円）	13,873	14,535
普通株主に帰属しない金額（百万円）	―	―
普通株式に係る四半期純利益金額（百万円）	13,873	14,535
普通株式の期中平均株式数（千株）	311,564	311,686
(2)　潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額	―	―
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変更があったものの概要	―	―

（注）１　前第１四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２　当第１四半期連結累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2　【その他】

該当事項はありません。

第二部　【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年８月９日

株式会社豊田自動織機
　取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員　公認会計士　笹 山 勝 則

指定社員
業務執行社員　公認会計士　市 原 順 二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社豊田自動織機の平成24年４月１日から平成25年３月31日までの連結会計年度の第１四半期連結会計期間（平成24年４月１日から平成24年６月30日まで）及び第１四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年６月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社豊田自動織機及び連結子会社の平成24年６月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第１四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
２．四半期連結財務諸表の範囲にはＸＢＲＬデータ自体は含まれていません。